

# 4月22日 議会全員協議会の概要

全員協議会とは、町の重要な問題について検討するために議員全員が集まって開かれる会議です。議案などの審議・審査は行わず、市長などの執行機関から説明を受けたり、質疑応答をしたり、意見を述べたりします。



**▼完成に遅れ 新庁舎建設の方針**

新庁舎建設の現状および今後の作業・スケジュールの説明がありました。

国土交通省、県庁などとの協議結果も踏まえ、今後は事業費の積算や設計内容の再精査などを行い、7月上旬に入札公告、9月上旬に本契約を目指すスケジュールが示されました。

これにより、当初2020年12月に供用開始予定であったスケジュールが半年程度ずれ込み、最短でも2021年の夏頃となる見込みです。



## 小規模特認校って？

少人数での教育のよさを生かし、一人ひとりの児童に目の行き届いた教育、個に応じた指導、体験的な学習活動等を通して、生きる力や豊かな人間性を培いたいという保護者の希望に対して、現住所のまま所定の条件のもと、小規模特認校として指定された小学校に入学・転学できる制度

**▼大津東小の小規模特認校制度導入**

複式学級となっている学校規模の適正化および小規模ならではのメリットを最大化するために大津小、美咲野小、室小校区から東小への入学を可能とする特認校制度の導入の説明がありました。

**【質疑・応答はぶつ意見】**

**質疑** 「地域の子どもの繋がりが壊れてしまうのでは」

**答弁** 「地域の子ども会に入れる等の配慮を検討中」

**質疑** 「児童数が減少傾向にある他の学校は特認校にならないのか」

**答弁** 「将来的には必要だと考えている」

**意見** 「確かに懸念点もあるが課題解消のためにはまずはやってみることが重要」

**意見** 「いじめや不登校の子どもの達の駆け込み寺的な役割も期待する」

**意見** 「仮に駆け込み寺となる場合は、転入生と在校生が共に幸せな学校生活をおくれる充分なサポートが必要」

**▼大津町備蓄計画および楽善倉庫視察**

全員協議会での概要説明後に楽善地区の防災倉庫の視察を行いました。

議会からは、「町の備蓄だけではなく住民の自助による備蓄の推進も重要」、「期限切れ非常食の用途整理が必要」、「倉庫から各避難所への輸送計画も必要」など、様々な意見が出されました。



## ▼立野ダム、阿蘇大橋復旧状況の視察

同日午後には各所の視察へ赴き、国交省の職員との質疑応答を行いました。

ダムに関しては安全面に関する質疑や要望が相次ぎました。

また、阿蘇大橋の再建は順調に進み、開通時期は2020年秋頃の予定。豊肥本線の復旧と同年になる見込みです。

